

流域マネジメントをより広がりのある活動とするため、「全国に広がる水のネットワーク」をテーマに実践者の皆様をお招きして事例紹介とポスターセッション(地域のPR展示)を行います。

従来の手法にとられない新たな取組とここでしか得られない推進のヒントを皆さんと共有し、水のネットワークを全国に広げていきたいと考えています。

水循環シンポジウム2018

～全国に広がる水のネットワーク～

日時 2018年 **12月10日** 月 13:30～16:30

会場 **トラストシティ カンファレンス・丸の内**
Room3+4 (JR東京駅日本橋口より徒歩1分)

定員 140名 (先着順) 主催 **水循環政策本部**

参加費
無料

プログラム

1. 開会挨拶

佐藤 克英 (内閣官房水循環政策本部事務局長)

【司会】

中村 晋一郎 (名古屋大学大学院 准教授)
笹川 みちる (特定非営利活動法人雨水市民の会 理事)

2. 話題提供

指出一正 (株式会社木楽舎取締役/月刊ソトコト編集長)

「関係人口のつくり方～ぼくらはローカルで幸せを見つける～」

3. 事例紹介

【コメンテーター】

辻村 真貴 (筑波大学生命環境系教授)
指出一正 (株式会社木楽舎取締役/月刊ソトコト編集長)
石田 直美 (株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門プリンシパル)

【発表者/発表題目】

高橋 そよ 「水の環でつなげる南の島のくらし」

琉球大学研究 推進機構研究企画室 上席URA

橋本 孝一・高橋 宗彦 「子供たちの笑顔が見える夏井川をめざして」

夏井川流域の会 代表・福島県水環境活動団体交流会 代表世話人

浜本 麦 「水と生き物と人間の繋がりを伝える活動」

特定非営利活動法人くすの木自然館 専務理事兼専門研究員

久保 和美 「富士フィルムの水リスクへの取り組み」

富士フィルムホールディングス株式会社経営企画部CSRグループ

松本 裕佳 「“水の文化”を通して伝える水への感謝」

株式会社Mizkan Partners広報部

関谷 秀昭 「天に選ばれし、名水の地 山梨」

山梨県森林環境部 政策企画監

谷 芳生 「秦野名水と言うには理由(わけ)がある」

秦野市環境保全課 課長

井上 崇也 「水の地産地消から始まる水循環への取組」

岡崎市環境部環境政策課 主事

4. ポスターセッション(地域のPR展示)

5. 審査員賞表彰 総括

 土木学会CPD認定プログラム (CPD単位2.8)



笹川 みちる



中村 晋一郎



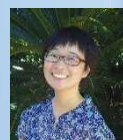
辻村 真貴



指出一正



石田 直美



高橋 そよ



橋本 孝一



高橋 宗彦



谷 芳生



松本 裕佳



浜本 麦



関谷 秀昭



井上 崇也



久保 和美